

# 第76期 中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで

輝く未来の創造「メーカー商社」として  
世界の産業界に貢献します。



## 事業紹介

### 商品

#### 圧力発生機

##### ブランジャーポンプ

高圧水の発生源となるポンプ  
高圧水洗浄装置の動力源として利用



#### 応用機器・システム商品

##### ロッキーワッシャー

多用途の高圧水洗浄機



##### 金属接合機(TOX)

異種金属板を接合する機械



#### 付属機器・部品

##### オイルシール類

高圧の水・油を密封し  
外に漏れないようにする  
外部からダストが  
侵入するのを防ぐ



#### 関連技術商品

##### 三方ピストン弁 (ロッキーバルブ)

高圧のガス等の流量を  
調整する弁  
主にタイヤメーカーの  
加硫機に使用



### 製品

#### 応用機器・システム製品

##### フラックス精密洗浄装置

半導体新製品(CSP、  
BGA等)の製造工程に  
使用されるフラックス  
を除去し、純水にて精密  
仕上げ洗浄を行う装置



#### 付属機器・部品

##### クリーンルーム対応ロータリージョイント

半導体業界で、CMP設  
備などに水や研磨剤な  
どを供給する回転継手



##### NC高圧洗浄機 (ジェットフレックス)

自動車業界向けの、  
高圧水を利用した部品の  
深穴の金属バリ取装置



##### 工作機械用ロータリージョイント

マシニングセンタ  
でクーラント液を  
スピンドルから噴  
射する用途に使用  
する回転継手



### 営業区分

リックスはお客様のニーズに  
迅速・的確に対応できる顧客  
密着型の「メーカー商社」と  
いう業態です。

鉄鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

工作機械

高機能材

環境

紙パルプ

その他

商社機能

メーカー機能



### ごあいさつ

株主の皆様には、平素よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第76期中間期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)における業績のとりまとめを終えましたので、ここに第76期中間報告書をお届けいたします。

徐々に経済活動の再開が期待される中、コロナ禍の一層の収束と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。また株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 安井 卓

## 課題解決型の「メーカー商社」として世界の産業界に貢献します。

**Q** 当中間期の営業概況について教えてください。

**A** 売上高は191億89百万円、営業利益は11億41百万円、経常利益は13億27百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億5百万円となりました。

当中間期の世界経済は、新型コロナウイルスの感染再拡大により供給制約が生じ、景気回復の勢いが鈍化しました。供給制約がインフレを引き起こし、インフレが消費を冷やす悪循環も懸念されています。

また、日本経済は企業の設備投資再開の動きが景気回復を裏付ける一方、世界的な供給制約や原油などの国際商品価格高騰による影響が懸念されており、先行き不透明感が出てきています。

このような経済環境の中、当社グループでは新中期3ヵ年計画「GP2023」に基づく施策に取り組んだ結果、第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高191億89百万円、営業利益11億41百万円(前年同期比70.4%増)、経常利益13億27百万円(同79.7%増)、親会社

株主に帰属する四半期純利益9億5百万円(同87.3%増)という結果になりました。

\*第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用しており、売上高の前年同期増減率を記載しておりません。またこの適用により、売上高が3億89百万円、営業利益が0百万円それぞれ減少しております。

**Q** 当中間期のセグメント別事業の概況について教えてください。

**A** 経営管理の観点から「工作機械」セグメントを新設し、従来「自動車」に含めていた工作機械業界向けの業績数値を新設した「工作機械」へと区分しております。

鉄鋼業界向けでは、整備部門だけでなく操業部門への営業活動に注力した結果、整備用部品や製鋼副資材の販売が伸びたほか、ダストリサイクル設備向け部品の販売が増加しました。

この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は56億97百万円となりました。なお、収益認識会計基準等の適用に

より、売上高は1億89百万円減少しております。

自動車業界向けでは、今後成長が期待される電池・モーター分野やデジタル技術に関する提案活動に注力した結果、管洗浄装置やフィルター類の販売が伸びました。

この結果、自動車業界向け全体としての売上高は35億13百万円となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は11百万円減少しております。

電子・半導体業界向けでは、メーカー機能や修理サービス事業の強化、デジタル新商品の拡販やリサイクルビジネスに繋がる活動に注力した結果、半導体製造装置用シール材や回転継手、洗浄装置の販売が伸びました。

この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は27億35百万円となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は1億6百万円減少しております。

ゴム・タイヤ業界向けでは開発案件の対応強化や補修ビジネスに関する営業活動に注力した結果、加硫機用バルブの売上が伸びたほか、流量計の大口案件が売上増に貢献しました。

この結果、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は13億39百万円となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は32百万円減少しております。

工作機械業界向けでは、工作機械の複合化に対応する新しい回転継手の営業に力を入れたほか、新型回転継手の開発にも注力した結果、回転継手の売上が伸びました。

この結果、工作機械業界向け全体としての売上高は9億9百万円となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は9百万円減少しております。

高機能材業界向けでは、高機能フィルムメーカーへの深耕を図るとともに医薬・化粧品業界の開拓に力を入れた結果、製薬材料会社向け設備や断熱材メーカー向け集塵機の売上が伸びました。

この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は8億22百万円となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は11百万円減少しております。

環境業界向けでは、SDGsに関連する水処理関連事業の拡大に力を入れたほか、再生エネルギー分野への深耕を図った結果、プラントメーカー向けベッセルや環境装置向けインバーターの売上が伸長しました。

この結果、環境業界向け全体としての売上高は10億55百万円となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は4百万円減少しております。

紙パルプ業界向けでは、ケミカル素材増産の設備投資

案件とバイオマスボイラーのメンテナンス機器販売に注力した結果、ケミカル素材増産用機器やボイラー用チューブの売上が伸びました。

この結果、紙パルプ業界向け全体としての売上高は4億21百万円となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は2百万円減少しております。

**Q** 下半期の展望などについてお聞かせください。

**A** 電子・半導体業界、自動車業界、ゴム・タイヤ業界などで堅調な推移が見込まれることから、通期の業績予想を上方修正いたしました。

当第2四半期連結累計期間は、好調な電子・半導体業界をはじめ各業界とも堅調な推移を示し、自社製品においても主力製品である工作機械用回転継手が増加したことにより、業績が上振れしております。また、為替差益など営業外収益の増加もあり、経常利益・四半期純利益ともに当初予想を上回る結果となりました。下半期においても、電子・半導体業界、自動車業界、ゴム・タイヤ業界などが堅調に推移する見込みであることから、通期の連結業績予想を上方修正いたしました。

**Q** 株主還元の状態など株主様へのメッセージをお願いします。

**A** 通期業績予想の上方修正に伴い、期末普通配当予想も上方修正いたしました。

当社は創業以来一貫して、株主の皆様への利益還元を重要な課題の一つと捉えて事業経営にあたっております。

当中間期末では、前年同期よりも10円増配となる1株当たり25円の間配当を実施させていただきました。なお当期末では業績予想を上方修正したことに伴い、期末普通配当予想も上方修正し、直近予想から5円増配となる1株当たり30円の配当を予定しております。これにより年間配当金は、前期よりも10円増配の1株当たり55円となる見込みです。

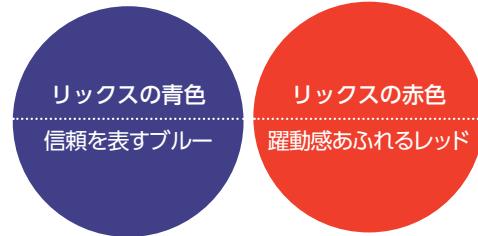
株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Corporate Identity

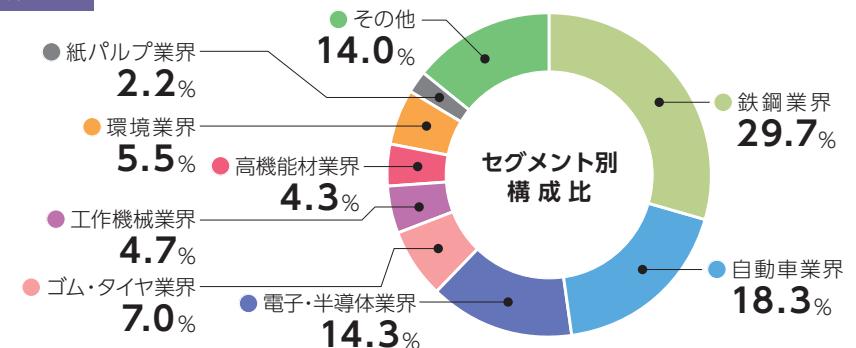
培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。



- R** 自社ブランド「ROCKY」の頭文字
- I** INDUSTRY (工業/産業)の頭文字
- X** 無限の可能性と将来性



セグメント別構成比



連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	前期末 (2021年3月31日現在)	当第2四半期末 (2021年9月30日現在)	科目	前期末 (2021年3月31日現在)	当第2四半期末 (2021年9月30日現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	23,389	25,136	流動負債	10,910	12,028
固定資産	6,789	6,887	固定負債	1,394	1,384
有形固定資産	2,975	2,973	負債合計	12,305	13,412
無形固定資産	136	135	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	3,676	3,778	株主資本	16,862	17,522
資産合計	30,178	32,024	資本金	827	827
			資本剰余金	1,057	1,057
			利益剰余金	15,384	16,044
			自己株式	△407	△407
			その他の包括利益累計額	674	743
			非支配株主持分	336	345
			純資産合計	17,873	18,611
			負債・純資産合計	30,178	32,024

連結損益計算書 (単位:百万円)

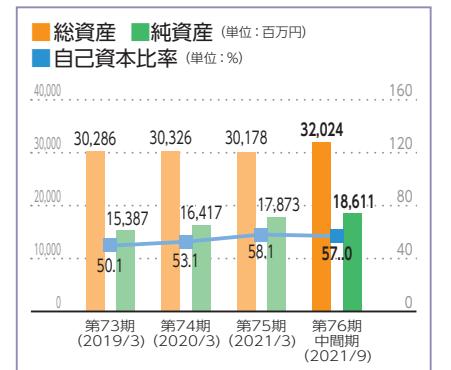
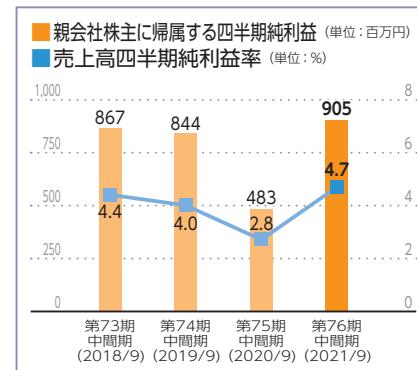
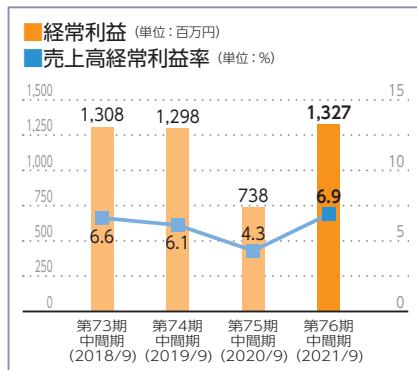
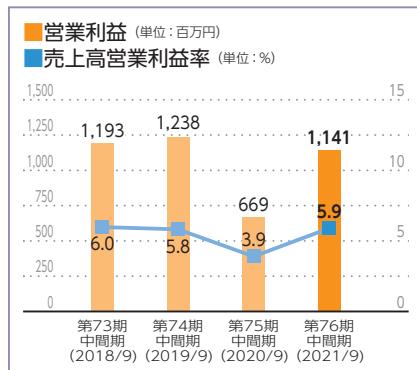
科目	前第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	17,278	19,189
売上原価	13,498	14,609
売上総利益	3,780	4,580
販売費及び一般管理費	3,110	3,439
営業利益	669	1,141
営業外収益	85	193
営業外費用	17	7
経常利益	738	1,327
特別利益	5	8
特別損失	4	1
税金等調整前四半期純利益	738	1,333
法人税等	241	416
四半期純利益	497	917
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	483	905

連結包括利益計算書 (単位:百万円)

科目	前第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
四半期純利益	497	917
その他の包括利益	114	67
その他有価証券評価差額金	151	△14
為替換算調整勘定	△35	86
退職給付に係る調整額	△2	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
四半期包括利益	612	984
(内 訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	594	975
非支配株主に係る四半期包括利益	17	9

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	前第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	当第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,732	1,185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△202	△397
財務活動によるキャッシュ・フロー	△450	△242
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	38
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,051	583
現金及び現金同等物の期首残高	5,875	7,043
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	99	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,026	7,627



当社グループの業績は国内製造業の設備投資と生産活動に依拠しておりますが、国内製造業の少子高齢化に伴う国内市場縮小を見越し、地産地消の考えに基づいて海外への生産移管をますます加速していることから、この変化への対応が最も重要な経営課題となっております。

当社グループは、2018年度にスタートした中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」において、経常利益(連結)30億円の達成を目標としておりましたが、初年度である2018年度に達成することができました。

これを受けて、2021年度より中期3ヵ年計画「GP2023」を下記のとおり策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

## GP2023 (Rix Growth Plan) 2021年度～2023年度

### ビジョン

リックグループは、“販売・技術・製造・サービスの高度な融合”とパートナーとの“協創”により、世界の産業界の課題解決のためのソリューションを提供します。

### 目標

## 2023年度 連結経常利益 35億円 の達成

### 1. ビジネス領域の拡大

- ① 現状の業界・業種の拡大(顧客開発部門への複合型メーカー商社※1機能の強化)
- ② 成長分野の開拓(車の電動化、再生エネルギー、医薬・化粧品、建機等の新規顧客開拓と流体制御技術を軸とした新商品・新製品・新サービス開発強化)
- ③ 海外展開の強化(北米、中国、インドの事業強化)

### 2. 収益性の向上

- ① 事業活動の効率化(DXの推進)
- ② オリジナル品※2比率の向上(新製品・新商品開発)

### 3. 人材・組織の革新

- ① ライフ・ワーク・バランスの充実
- ② Rixing Action※3を実践できる人材の育成、定着
- ③ 社内外協創を実現する組織の構築

### 4. ステークホルダー・リレーションの向上

- ① CSV-Creating Shared Value(リックスのビジネスを通じた社会貢献)活動の推進
- ② ステークホルダーとのコミュニケーションの強化

※1 複合型メーカー商社とは、モノ売りだけでなく、お客様のモノづくりのプロセス全体(企画、開発、生産技術、製造現場、保全、廃棄)に対応できる機能(試作・開発支援、メンテナンス、据付、再生・廃棄、運用等)を持ったメーカー商社のこと。

※2 オリジナル品とは、リックスグループのみから提供できる商品・製品・サービスまたはその組み合わせのことをいう。

※3 Rixing Actionとは、RIXの経営理念・行動指針、社風・歴史、ビジネスモデル等を表す総称であり、脈々と受け継がれてきたもの。

### 方針

## 「ロッキーライト RS」(フォーミング抑制材)が 令和3年度 福岡県「循環型社会形成推進功労者知事表彰」を受けました。

当社製品のフォーミング抑制材※「ロッキーライト RS」(特許番号6281800)が、令和3年度の「福岡県 循環型社会形成推進功労者知事表彰」を受けました。この表彰は、循環型社会の形成について顕著な成果を上げた個人や企業などが対象となっています。同製品は、本来は産業廃棄物として処理される製紙スラッジと人工大理石の端材を、独自の配合で組み合わせてつくっています。

世界のものづくりに携わる企業として、今後も自社の技術を伸ばしつつ、有限である資源について深く考え、環境に配慮した製品の開発に努めていきます。

※鉄鉱石から鉄を取り出す金属精錬の際に発生するスラグ(金属カス)の吹きこぼれを防止するもの



フォーミング抑制材「ロッキーライト RS」



生嶋亮介 福岡県副知事(右)と当社 安井 卓 代表取締役社長



## アクア膜グループを「アクアイノベーション事業部」に昇格。

水関連の事業を拡大し、水資源の有効活用を進めるため、NB開発本部インキュベーション部の一グループだった「アクア膜グループ」を10月1日より

### 「アクアイノベーション事業部」

に昇格させました。組織を強化することで、これまで以上に、ろ過・分離分級・純粋・超純水・排水回収減容化・排水再利用など、さまざまな顧客課題に応え続けていきます。

また、水関連事業の成長・発展に寄与することで、SDGs目標6「安全な水とトイレを世界中に」の達成に貢献していきます。



アクアファイバー / 繊維ろ過装置



海外ネットワーク

(2021年10月1日現在)



事業所

(2021年10月1日現在)

信頼と情報を支えるネットワーク網

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。

本社	★管理本部、企画本部、海外営業統括部
営業本部	■グローバル営業本部
営業所	●自動車事業部 豊田営業所、西尾営業所、小倉営業所 ●鉄鋼事業部 鹿嶋営業所、千葉営業所、君津営業所、東海営業所、和歌山営業所 ●東部営業部 苫小牧営業所、仙台営業所、宇都宮営業所、埼玉営業所、東京営業所、西東京営業所、横浜営業所、平塚営業所、富士営業所、名古屋営業所、北陸営業所、豊橋営業所、四日市営業所 ●西部営業部 滋賀営業所、大阪営業所、加古川営業所、倉敷営業所、広島営業所、岡山営業所、福岡営業所、長崎営業所、大分営業所、熊本営業所、鹿児島営業所
工場	■福岡事業所 生産本部
研究・開発所	▲技術開発センター ▲中部テクニカルセンター ▲横浜事業所 NB開発本部



会社概要

(2021年9月30日現在)

- 商号 リックス株式会社
- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創業 明治40年(1907年)10月
- 設立 昭和39年(1964年)5月1日
- 資本金 8億2,790万円
- 従業員 443名(連結678名)
- 主要な事業内容 高圧液圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

取締役および監査等委員である取締役

(2021年9月30日現在)

代表取締役社長 安井 卓	取締役 伊佐 清人
代表取締役副社長 柿森 英明	取締役 (常勤監査等委員) 田原 俊二
専務取締役 川久保 昇	取締役 (監査等委員) 植松 功(*)
常務取締役 荻田 透	取締役 (監査等委員) 大山 一浩(*)
常務取締役 芹川 康介	取締役 (監査等委員) 馬場 貞仁(*)
取締役 橋本 忠	
取締役 江頭 裕明	
取締役 多々良 浩昭	

(\*) 社外取締役

株式の状況

(2021年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 27,600,000株
- 発行済株式の総数 8,640,000株
- 株主数 5,551名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	14.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	492	6.02
株式会社西日本シティ銀行	382	4.68
安井玄一郎	379	4.64
リック取引先持株会	324	3.96
リック従業員持株会	229	2.81
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	197	2.41
安井龍之助	196	2.40
園田和佳子	171	2.09
山田貴広	164	2.01

注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
2. 当社は自己株式457千株を保有しております。

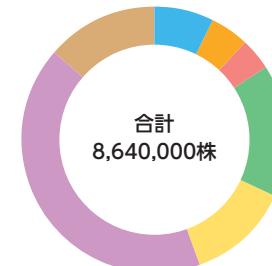
株式分布状況

(2021年9月30日現在)

所有者別株式分布状況

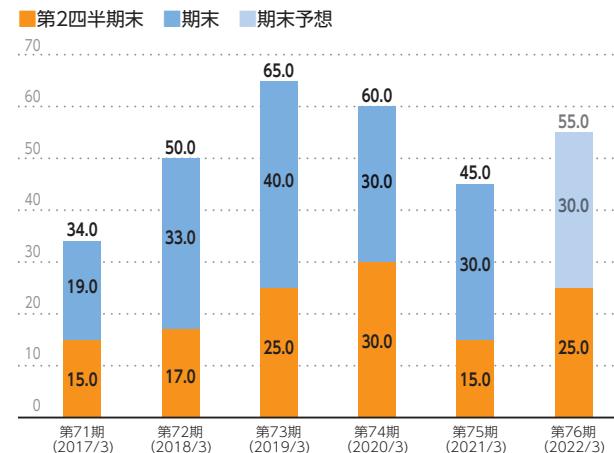


所有株数別株式分布状況



1株当たり配当金の推移

(単位:円)



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

配当金受領 期末配当金 3月31日  
株主確定日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人  
および特別口座の  
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

### 株式に関する各種手続の申込先について

- ・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。
- ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- ・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。

同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 電子公告により行います。  
公告掲載  
URL <https://www.rix.co.jp/>  
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
福岡証券取引所

## 株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。

- 割当基準日 3月31日
- 優待内容
  - 100株以上300株未満所有の株主様  
⇒ クオカード1,000円分
  - 300株以上500株未満所有の株主様  
⇒ クオカード2,000円分
  - 500株以上1,000株未満所有の株主様  
⇒ クオカード3,000円分
  - 1,000株以上10,000株未満所有の株主様  
⇒ クオカード4,000円分
  - 10,000株以上所有の株主様  
⇒ クオカード10,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

<https://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索 



 リックス株式会社

〒812-8672  
福岡市博多区山王一丁目15番15号  
TEL (092) 472-7311

 UD  
FONT

 ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C022915

 VEGETABLE  
OIL INK

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。  
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。